

平成25年4月24日、25日に中学1・2年生を対象として「佐賀県学習状況調査」を実施しました。内容は2年生は国語・社会・数学・理科・英語の五教科、1年生は国語・社会・数学・理科の四教科および学習・生活に関する調査でした。その結果を分析し、本校生徒の全体的な傾向と今後の指導について検討いたしましたのでお知らせいたします。なお、生徒一人ひとりの学習の状況につきましては、「学習状況シート」を配布しております。また、家庭学習の時間の確保など、ご家庭の協力がが必要です。基本的な生活習慣の確立が学力に影響を及ぼすとも言われています。ご家庭でもよろしくご指導お願いいたします。

1. 2年生の傾向と今後の指導について

	傾 向	今後の指導について
国語	<p>全体の正答率は、県平均とほぼ同じ程度である。 観点別の正答率は、「話す・聞く」は県平均を大きく上回り、「知識・理解」は県平均とほぼ同じ程度、「読む」は県平均をやや下回り、「書く」は県平均を大きく下回る結果となった。 書くことにおいて、無解答の生徒が多い傾向がみられる。</p>	<p>書くことを苦手としている生徒が多いと考えられる。そこで、論旨や構成に定評のある新聞コラムを視写させ、感覚的に文章になじませるところから取り組んでみたい。その後、条件に従ってまとまった長さの文章を書くスキル学習を行う。</p>
社会	<p>全体での正答率をみると、県平均とほぼ同程度である。十分・おおむね達成の生徒の割合は、県平均より数値的にはやや下回るが、ほぼ同レベルである。また、要努力の生徒の割合が県基準において、昨年より若干増加している。 観点別では、「思考判断」「知識理解」については県平均とほぼ同レベルである。歴史的事象や地理的事象の関係や意味を考え説明する力については、少しずつ力がついてきている。反面、地図や年表などの資料から事実を読み取り、自分の考えを表現するために必要な資料を活用する「技能・表現」については、県平均を下回っている状況である。</p>	<p>2年生の授業は、前半の地理的分野では統計資料や地図を活用して事象を分析し理解するという内容が中心である。そのため、1年生での学習の基礎的な力の「応用」を要求される場面が多い。そのため、昨年の課題を十分にクリアできていない生徒には、難しい学習内容である。そのことが、結果に反映されていると考えられる。 この傾向を受け、今後は「技能・表現」に係る力を培っていく必要がある。具体的には、資料などを読み取るためのスキルを身につけさせることが重要である。そのために、「各資料に対して、どの部分をどのように切り出せば本質を見いだすことができるか」や「どのように表現し、まとめればよいのか」等、生徒の力に応じたきめ細やかな指導をおこなう。また、そのための学習メソッドの定着も図っていく。</p>
数学	<p>全体での正答率を見ると、県平均を大きく下回っている。 観点別の正答率も、「見方や考え方」「技能」「知識・理解」のすべての観点で県平均を大きく下回っている。 特に、技能の落ち込みの傾向が顕著である。</p>	<p>技能の落ち込むが目立つこともあり、計算力を定着させたい。そのために、計算課題プリントを配布し、小テスト、再テストをループさせることで根気よく取り組んでいきたい。 また、学習したことをすぐに忘れてしまう生徒も多いので、授業中に既習の内容を問いかけていくことを心がけ、記憶の掘り起こしを行っていきたい。</p>
理科	<p>全体での正答率を見ると、県正答率をやや上回っている。 観点別の正答率では、「理解」の観点は県平均をやや下回り、「表現」「言語・文化」の観点は県平均を大きく上回っている。 文章表現を苦手とする傾向がある。</p>	<p>実験や観察には興味や関心を示す生徒は多いが、積極的に取り組もうとする生徒が少ないので、活動の機会を増やしていきたい。覚えることを苦手とする生徒が多く、そこが理解力低下につながっている。簡単な授業の確認プリント等の課題を数多く解かせることで理解力の底上げを行いたい。</p>
英語	<p>全体での正答率を見ると、県正答率をやや下回っている。 観点別の正答率も、「思考・判断」「技能」「知識・理解」のすべての観点で県平均をやや上回っている。 聞き取ったり、書いてあることを読み取る力はあるが、要約したり、自分で文章を考える問題に課題が見られる。</p>	<p>英文の全体的な内容を読み取る力に学力の差がある。家庭学習で課題の提出ができていない生徒ほど、学力の低下が見られる。長文等の読解力をつけるためには、語彙力を高める必要があるため、今まで通り、単語や重要文の課題に継続して取り組ませたい。 英作文の力をつけるために、教科書の単元にある内容以外に、定期的に日記や感想を書かせるなどの取り組みを行ってきたい。</p>